

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800291		
法人名	特定非営利活動法人 ほのか会		
事業所名	グループホーム おおきな家 東館		
所在地	夕張郡長沼町西町1丁目4-6		
自己評価作成日	令和7年2月20日	評価結果市町村受理日	令和7年4月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0175800291-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和7年3月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

おおきな家東館は田園風景が広がるのどかな住宅地にある。玄関前には道路はさみ小さな公園があり四季折々のさくらの木、どんぐりの木等季節感を感じさせてくれます ホーム前は曲がり角になり車の走行は安全でございます。玄関からスロープを通り長椅子で散歩後は一休み。たまにはレクで歌を歌いながら日光浴も行います。前庭にも沢山の花を植え込み可憐な花で和まれます。夏は野菜畑でトマト、ナス、キュウリ、秋はサツマイモの収穫を皆様に喜ばれ食卓の一品となります。散歩中ご近所様との触れ合いもございまして皆様に暖かな目で見て下さいます。皆様のお部屋の窓からは季節ごとの自然景色を楽しまれ暖房と乾燥調整に加湿器を設置、部屋の温度に気配りしております。一部ですが、家族様来所持入居者様と共にお部屋のレイアウトを自由に楽しまれてもおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームおおきな家」は田園風景が広がる自然豊かな地域に位置する2階建て2ユニットの事業所である。室内は台所を中心とした回廊式で、観葉植物が置かれた清潔感のある居間にはゆったり寛げるソファがあり、生活環境が整えられている。玄関前には公園には、季節の木々や「花いっぱい運動」に参加し植えられた花壇があり、利用者の散歩時や地域の方々お気軽に立ち寄れる交流の場となっている。運営面では運営推進会議のほか、地域の介護・福祉の充実を図るための地域ケア会議に参加し、他職種や行政と連携しながら地域情報を共有している。食事の面では食事が日々の楽しみとなるよう、豊富な献立を揃え、品数や彩りも豊かで、職員が手作りで提供している。法人本部からのサポートや家族からの差入れも多く、食への楽しみになっている。馴染みの関係継続の面では、家族、親族の面会のほか、友人や知人の来訪がある。また、馴染みの美容院へ通う方もいる。医療面では、入居前からのかかりつけ医への定期通院を支援し、看護職員と主治医と連携して健康管理を行っている。住み慣れた地域で安心して生活し続けられるよう、職員間で緊密に連携を図り、「みんなとともに」最後まで暮らすことができる事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着の意義を踏まえた理念は皆様の見える場所に掲げ毎朝夕の会に目を通し実践につなぐべき努力を行っている。	端的で分かりやすい理念は事務所前の壁に掲示している。「みんなとともに」の中に地域密着型サービスの意義を含めている。外国籍職員も理解し、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	回覧板の行き来夏場はホーム庭先でレク時、散歩でご近所様とふれあい、行事、夏祭りでのお神輿での集い草刈り等出られる方と楽し見ながら交流を図っております。	地域町内会活動の「花いっぱい運動」「清掃活動」に積極的に参加し、食材も町内の店舗で購入している。神輿の巡行も事業所前の公園にきている。また、散歩時に挨拶を交すなど交流を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	夏場の一緒に草刈り作業、散歩でのふれあい等、ありのままにお話、動作を見て頂き理解頂く言葉かけがございます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議は本部との話し合で開催。町職員、区長、地域代表、複数家族の参加。感染症、虐待防止の現状の取り組みの話し合いを行った。参加できない家族様には電話、来所時に報告を行っている。回数の増加はできなかった。	今年度は運営推進会議を法人他事業所と合同で、1回開催している。町職員、区長、複数の家族が参加し、感染症対策、外国人実習生採用などのテーマで質疑応答が行われている。	運営推進会議の定期的な開催と、テーマを設定し家族の意見を得る機会を設けることを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議は、町職員参加いただき、地域ケア会議には管理者出席情報交換をしている。各種の手続等は法人本部を通して役場に相談行っている。	法改正などの問い合わせは本部で行っている。各種報告事項は管理者がメールで行っている。また、町内の介護、医療関係者が集まる地域ケア会議に出席し、情報交換を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	危険を覗き、施錠は固く禁止、自由にゆったりとしぱりつけづのない動きを見守っております」	禁止の対象となる具体的な行為を記載した指針を整備している。法人合同で「虐待防止・身体拘束廃止・感染症委員会」を3か月ごとに開催し、職員に周知している。身体拘束廃止研修の実施記録と資料の整備が不十分な面がある。玄関は夜間のみ施錠している。	「高齢者虐待防止」、「身体拘束廃止」研修と同時開催の場合も研修資料を添付し保管するなど、書類の整備に期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止委員会3か月事行い、内部研修を実施している。日々気になる場面があるときは即、注意し合うように努めている。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護、成年後見制度に関して資料で各学習。事例がなく学習の継続としている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約には利用者様家族様に十分丁寧に説明を行い納得いただいております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様の来訪時、電話時に運営要望を意見等をサラッとお聞きし、合わせて本人様の昨今の心身の様子をお話し、困難事の話と合わせて家族様と一緒に考えながら良い方向に持っていけるよう務めております。	家族の面会時や電話連絡時に利用者の状態を伝え、得た意見や要望は「家族様との連携ノート」に記載し、職員間で共有している。また、「おおきな家便り」に利用者写真やコメントを添えて毎月送付している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	法人本部は週に1度また、必要時に職員とのミーティング機会を作り意見提案を聞く姿勢を作っております。	法人職員が月に数度来所し、職員の話聞く機会がある。また、管理者は日常業務の中で職員の意見を聞き取っている。職員は業務を分担し、今回のサービス評価の自己評価表作成にも携わっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人本部は個々の職員の能力、努力、実績、勤務状況を把握し適材適所へ配置するよう心がけています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で無理ない範囲で研修を開催しており参加できなかった職員には資料を配布し個々に学べるように配慮しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	いまだに感染予防に最善の注意を払い長沼町開催地域会議参加し事例などの検討を行い学習内容を業務に役立てております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境が変わって初めての暮らしへの大きな不安に、は、ご本人の気持ちを深く読み取り細やかな関わりが重要と思い寄り添って参ります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様とは電話、来所時連絡、情報提供を密として関わりを細やかに保っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要支援を今までの生活習慣から引き出し家族様とも決めて参りますが、場合によって。他の資源も参考に考えて参ります。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お一人お一人の個性を重んじ家族的な雰囲気と共に支え合いながらの関係作りを気づいて参ります。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は本人の日々の気付きと個性を把握しながら困難があるときは、家族様の力も頂き共に良い方向に行くよう支え合っております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様。ご近所様、馴染みの薬局様、ご友人、親戚様などと気軽に訪問いただきお付き合いが途切れませんように支援に務めております。	家族や親族のほかに友人や自宅の隣人が訪ねてきている。家族と馴染みの美容室に通う方や親族の葬儀に参列した方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の個性を考えながら孤立せぬよう、例えばトラブルが有っても距離を置きながら、自然に関わり支え合っていけますように努力致しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	大腿骨骨折され手術された94歳の入居者様には退院後は必ず我がホームに帰って頂くよう家族様と約束。他の病院転院だと寝たきりを心配したため。2週間で戻って頂いた。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	3/1位の方が意思疎通が困難であるがゆっくりはつきりお伝えすることで、分かる場合もあるので様子をみながら柔軟に対応行う。	会話から把握が難しい場合は、利用者との関わり経験や家族からの情報をもとに洞察したり、表情や仕草から希望や意向を汲み取っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活の変化に戸惑い家族を求める場合、慣れるまで不安が強い、お話相手を続けながら少しずつ、持ち物写真、お位牌、使い慣れた着るい、道具などで落ち着いていただいています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お洒落が好き、お花が、唄、編み物、畑、料理等本人の興味を引き出し一緒に行えるよう誘いに努めております。ウエスタタミ、掃除機かけ、いもの芽取り、茶碗拭き、花に水等。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	昨年度の介護計画個人目標チェックの未熟差を即、皆様と話の上で改善行い日々記録を行っております。	介護計画に基づき日々支援し記録している。課題分析シートを3か月ごとに職員間で検討し更新している。介護計画の見直し時に家族意向をより具体的に聞き取る意向である。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の申し送りノートに記載問題事は実践の結果と経過を口頭でも送ります。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々のに家族を含めたニーズに応じた支援資源を職員同士の情報、家族さま、本部の聞き取り集約ケアサービスに繋げております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域福祉サービスの秋祭り、春の道端へのおはな植え込み、草刈り等無理なく参加させていただきフレッシュさせて頂きました。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族様の思いをお聞きし、入所前からのかかりつけ医継続を主としております。病状の状態で町外の訪問診療を受けられている方もおります。	全利用者がかかりつけ医を継続している。看護職員が在籍し、日々の健康管理にあたっている。訪問歯科医の依頼もでき、通院は家族と協力している。「医療連携体制記録」を個人別に記録している。	

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	皆様の受診経過情報を伝え気にかかる場合は判断を仰ぎ一緒に快方へ向かうようケアを行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	状態の把握、家族様、病院関係者から情報頂き早期退院へ働きかけてます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時重度化対応、「週末期ケア対応指針」説明同意頂く。家族様のご希望に添う様早い時点で細やかな判断を頂きながら、随時対応させていただきます。 看取り 「畑中さま・松屋様」6,9月	利用開始時に代表が指針にそって説明し同意を得ている。医師より終末期と診断された場合はターミナルケアの指針にそって説明し、医師、家族、事業所で話し合い、看取りの体制を整え、今年度も看取りを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期に応急手当、処置訓練は無いが、必ず緊急時には今まで関わった経験から知恵を出し合い看護師指示のもと対応行っております。。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回火災地震想定し訓練実施しています。避難経路確認、避難方法身に付けていますが、順番に皆が研修できるように人員配置行う。近間の法人関連施設と災害時の協力可能と思われる。	年2回、日中、夜間想定火災避難訓練を利用者参加で行っている。消防署員による心肺蘇生訓練も実施している。	地震想定避難訓練の実施とケア場面を想定した机上訓練の実施を期待したい。また、避難訓練に近隣住民の参加協力の依頼も期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勘違いの強い訴えに 対し少し時間を置きながらゆっくりと話す事で互いに安定されるが繰り返しが多い。	管理者が申し送りで言葉遣いや適切な対応について話をし、気になる時は職員同士でも注意している。申し送りは、書面を指で示して行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	寒いからと入浴拒否がある場合入浴日朝から気分を高揚させるべく関わりを保って入浴に繋がりますが、失敗もあります。「拒否が長引いた場合」		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	家庭でのペースを重んじ少しずつホーム生活に馴染んで頂くように時間をかけながらお部屋のかたづけから、食事内容まで出来る限り希望に添える様支援を送らせて頂きます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出家族様との食事会、身だしなみ整えお洒落の方には普段でもお化粧、着替えの確認など髪の毛は美容室お連れしたりホームでカット受け持っています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しい食事ですから彩りよく食欲出るよう念頭に、嗜好、形態を把握しながら配膳致します。現在は一緒に準備、片付けは出来ておりません。	法人の献立で、彩り豊かな美味しい食事を提供している。理事長からの寿司や果物、オードブル、家族からの野菜の差し入れが食卓に上がることもある。誕生日はちらし寿司や赤飯でお祝いしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	皆様の食事形態、習慣、量を周知し盛り付け致し水分量の確認をお膳でチェック、みそ汁の濃さを確認。水分少ない場合別の水分工夫行う。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、食事後、就寝時自立されていても、声掛けし舌の違和感のある方には舌ケアを行う様つとめている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄時間を把握しながら皆様がトイレで排泄可能実感されますよう声掛けケアを行っている。	自立している方も排泄を記録し、個々に応じた声かけや誘導を行い昼夜とも全員トイレでの排泄を支援している。夜間のみポータブルトイレを使用する方もいる。時間帯で排泄用品の種類を変更している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々排便日、時間の確認、記録、長引かれる方の様子を見ながら水分食材の確認工夫にと務めております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	心身の様子を把握、改めて入浴される場合もあるが、寒いからと極端に拒否の場合時間を替えたり朝から気分を高揚に仕向けたりと沢山の関わりを試みて何とか繋げております。	毎日入浴が可能で、午後の時間帯で湯加減や同性介助など本人の希望にそって一人週2回の入浴を支援している。歌をうたったり職員と話しながら全員湯船に浸かり、入浴を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のペースに合わせ遅い方は一緒に居間でテレビ楽しみ、夜中徘徊される方には様子に目を凝らしながら落ち着いたら就寝へと繋げます、		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の投薬の整理箱から日付時間間違えぬよう確認し合い薬の目的量を把握しながら服用いただきます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	10時3時おやつ、コーヒータイム。甘いお菓子で和みます、縫物、ウエス切、洗濯タタミ、新聞折り、掃除機掛け、床拭き等それぞれ得意を無理なく一緒にやります。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	夏から秋の日中、近隣公園近所の花畑、我が畑草取りなど楽しみ、本部まで用事時に一緒にドライブ、隣町の公園まで紅葉を楽しみます。家族様の連れ出しがありまして食事、遠出と出かけられリフレッシュされております。	普段は近くの公園で花を見たり、どんぐりを拾うなど季節を感じながら散歩や外気浴を楽しんでいる。個別の買い物やドライブに行ったり、花見で栗山公園に出かけている。家族と外食に行く利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	数人の入居者様は家族様からの要望で預かり金「5名様」され必要品の買い物、受診経費等の管理行っている。本人所持は無い。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の要望で電話の取次ぎを行い、その時に現在の様子を報告致します。携帯電話持っている方がおり家族様から夜電話でお話されています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ゆったりと過ごせますように、浴室、トイレは、あかるく広く環境作りに心がけ、午前午後の窓の陽を受けながらお部屋の乾燥を防止、湿度配慮に加湿器設置。各お部屋からは雪景色、車往来が見え、犬の散歩も今はたまに見られる等冬の庭の雪帽子木々も楽しめます。	居間と食堂には、大きな窓から明るい光が注いでいる。ゆったりしたソファを備えた居間に観葉植物や写真、利用者の塗り絵作品がさり気なく飾られている。清掃が行き届いた清潔感のある共用空間は、温湿度にも配慮し過ごしやすい環境を整備している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々のペースが有り、自室時間、ホール時間と自分で区切られ自由に出入りされ、声掛けでおやつ時間は動かれている方、ホールではお話に花を咲かせ演歌、相撲等も楽しめます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時慣れ親しんだ道具、寝具、仏壇、写真趣味の毛糸等家族様とも話し合い持参頂き、環境が変わっても安心されて生活ができますよう支援致し。ご本人身体にお合わせした車椅子、ベット、歩行器等対応させていただいております。	入り口に本人の写真が飾られており、自室が分かるようになっている。使い慣れたタンスや椅子、鏡や時計などを持って来ている。マッサージチェアを持って来ている方もいる。家族写真や自分の作品を飾り、居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内部、日々迷ってもわかるよう一声かけで可能移動。手すりが歩行場所ぐるり壁側に回しており、段差なし。車いすトイレ対応可能。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800291		
法人名	特定非営利活動法人 ほのか会		
事業所名	グループホーム おおきな家 西館		
所在地	夕張郡長沼町西町1丁目4-6		
自己評価作成日	令和7年2月14日	評価結果市町村受理日	令和7年4月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0175800291-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和7年3月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご入居様一人ひとりの思いや尊厳を大切にし自由で、家族的な雰囲気大切に少しでも長く自立した生活が送れるよう個々の生活スタイル、習慣を尊重した支援に努めています。 季節の行事や、散歩、ホームの菜園での野菜作りを通して季節の移り変わりが感じられるような支援に努めています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆったりと楽しく自由に、ありのままに暮らしの喜びと自信をみんなと共に」の理念を念頭にご利用者がより良い生活を送れるよう管理者、スタッフ全員で支援に努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所は、町内会に加入し「花いっぱい運動」や「清掃活動」に職員がご利用者様と一緒に参加、交流を持っている。コロナ禍で実施できなかったが夏祭りなどには近隣の方をお誘いし交流を持っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所は、認知症についての共通の理解を持てるよう職員の研修会参加を促し、日々の実践での支援方法を地域の人々に理解して頂けるよ発信、周知に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、当事業所での取り組みについて報告し、ご家族様や地域の方から頂いた貴重な意見をお聞きし今後のサービスに反映できるよう努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所は、市町村担当者と連携し協力関係を築くよう努めている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	代表者と事業所職員は身体拘束の具体的な行為について研修会などを通して認識を深め、お互いに情報共有、サポートできるよう協力し身体拘束のないケアを目指している。また玄関や、内ドアの施錠はしていません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員や管理者は、研修会等に参加し、高齢者虐待防止法について理解を深めるよう努め、虐待のないケアを目指して実践している。ご利用者様の心身についてミーティングなどで情報共有し見過ごすことがないように努めている。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員や管理者は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について研修会等学ぶ機会があれば参加するよう努めている。現在まで活用した支援はない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時などには、ご本人やご家族様の不安や疑問点について傾聴し、不安な事があれば分かりやすくご納得頂ける説明ができるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の来訪時やお問い合わせ時等に、ご利用者様の現状を伝えたりご要望、ご意見をいつでも遠慮なく訊くことができる体制、環境を作るようよう努め、お聞きしたご意見、ご要望を運営に反映できるよう常に検討しております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、職員と毎日の申し送り及び業務の中で常に情報、意見の交換を行い日々のサービスに繋げている。また、代表者は職員の意見や提案を聞くミーティング会議を設け業務に反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人本部は個々の職員の能力、努力、実績、勤務状況等を把握し適材適所へ配置するように心がけています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で無理ない範囲で研修を開催しております。参加出来なかった職員には資料を配付し個々に学べるように配慮しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は、職員及び管理者が地域の同業者及び同業他業種との合同研修会等でネットワークの機会を作り意見交換をしサービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事業所では、ご本人様、ご家族様からこれまでの生活環境や情報をお聞きした上で、困っていることや不安なこと、抱えている問題、ご要望等を傾聴し安心してサービスを受けることができるような関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事業所では、サービスの利用決定時及び開始時開始後それぞれにおいて、ご家族様が不安に思う事、困っている事、ご要望ご不安を傾聴し問題点等を確認の上で、より良い信頼関係を作れるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事業所では、情報収集し、ご本人様、ご家族様の思いと現状をお聞きし今一番必要とされる支援を見極めるよう努めている。また他のサービス利用も可能であるか否かを常に検討し対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、ご利用者様一人ひとりの人格個性を大切にを、一番に考え、一方的な介護にならぬよう本人本意で家族的な雰囲気生活と一緒にいとお互いに支え合える関係づくりに努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は、ご家族と職員で共にご本人を支えて行くという目的のもと生活状況や心身の変化を報告、相談をしながら関わり支援をして行く関係づくりに努めています。、また生活状況について密に連絡をするよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の制限は緩和されたため人間関係を途切れさせないよういつでも来訪していただけるよう雰囲気づくりに心がけ、ご希望の時間にお電話で通話して頂く等これまでの関係が途切れないような支援に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、ご利用者様一人ひとりの個性や生活習慣を把握し、孤立することなく良好な関係性を保ちながら、ご利用者様同士がお互いに支え合え良好な関係を作れるようご支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	事業所では、ご利用者様が入院をされた場合は、馴染みの関係が途切れないように職員が病院へ会いに行き状況を聞き相談支援をするよう努めている。コロナ禍での対応も緩和されたためご家族様と相談、関係機関とも連携しながら支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	事業所は、ご利用者様の思いや意向をお聞きし、これまでの生活習慣や環境などご家族様やご本人の情報を元に暮らし方の希望の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事業所は、ご本人様やご家族様からの生活歴や生活環境などの情報収集や利用されているサービスの経過を把握することで今後のケアに生かすよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	事業所は、ご利用者様一人ひとりの日々の生活の中で、ご本人様の心身状況の変化や、出来る事、出来ない事を把握するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要の関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護職員、必要の関係者各位は、ご本人様の心身状況やその時々思い、またご家族様のご要望等を聞き話し合い介護計画に反映させている。計画に沿った介護が実行されているかモニタリングを実施し検討し計画の作成を行っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員は、ご利用者様の個別ファイルに、支援内容や一日の生活行動、会話内等を記録し職員間で情報を共有し日々のより良いケアの実践に繋げ介護計画の見直しにも生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	事業所は、利用者様やご家族様の状況に応じて発生するニーズに合わせ、必要に応じて柔軟なケアサービスが出来るように、職員間で情報交換し多様なサービスができるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	事業所は、地域福祉サービスや医療機関を把握し今あるニーズに即対応できるよう努めている。コロナ対応も緩和され、ご利用者様が町内会の行事に職員と参加し豊かな生活、活動ができるよう支援してる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所は、ご本人やご家族の希望を尊重し入居前からのかかりつけ医に継続して受診ができるよう支援している。専門医の受診も行い適切な治療を受けて頂けるよう支援している。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	事業所には、非常勤だが看護師が配置されておりいつでも変化に対応できる体制ある。介護職員はご利用者様の健康状態の把握、心身の変化に気づくように努め、状況に応じて看護師へ報告、連絡、相談し適切な看護や受診が受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	事業所は、ご利用者様が入院した際に安心して治療に専念できるよう、そして早期退院にむけての情報交換や相談を病院関係者と密に行い努めている。また、定期的受診時や訪問診療等で、情報共有し病院関係者といつでも協力できるような関係づくりに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所は終末期や重症化した場合の在り方について、ご本人様やご家族様と早い段階で話し合い家族様の希望に添うように対応を行ないます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	コロナ禍において、全ての職員が定期的に応急手当や初期対応の訓練を受けている状況ではない。個別には町内で主催する応急手当の研修会に参加している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	事業所では、年2回ほど火災や地震を想定し避難訓練を実施し避難経路の確認や消火訓練を実施している。協力体制については運営推進委員会において話し合いがなされている。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は、一人ひとりの人格の尊重、尊厳の保持、プライバシーに配慮したケアをするよう心がけている。、気配りのない声かけや言葉使い、また配慮に欠けた対応がある時は職員間で注意をしながらケアに取り組んでいる。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様が自己決定や思いを表出しやすいようにし表情の観察や意図的な声かけで自己決定がしやすいように促しや雰囲気作りに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は、ご利用者様それぞれの生活リズムを尊重し、一人ひとりのペースを優先することで、自由にありのままに自分らしく過ごすことができるようご希望に沿い支援していくよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	事業所では、ご利用者様のご希望に沿い、鏡の前で髪を整えて頂いたり、お鬚剃りのケアをしたり、毎月のヘアカット、洋服選び等、出来る限りその人らしい暮らしができるよう支援している。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は、ご利用者様の嗜好を把握し、食べる力を考慮して食事を提供している。よほどの体調不良がない限りご利用者様の全てがお食事を楽しみにしており全量召し上がっている。食材の下準備を一緒に行うことがある。食後の後片付けはお膳拭きやカップを下げるなどされている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	事業所では、ご利用者様の一人ひとりの食事習慣や食べる力の把握に努めている。ご利用者様一人ひとりの水分量や食事量を記録し、各々の一日の適した摂取量が確保できるよう職員間で情報共有し支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご利用者様の起床時、毎食後の口腔ケアを個々の状態に応じて声掛けや介助により支援している。義歯の方は就寝前に洗浄の支援をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	職員は、ご利用者様一人ひとりの排泄チェック表で排泄パターンを把握しトイレで排泄ができるよう支援している。ご自身で出来る事はして頂き排泄の一連の動作が定着し少しでも長く自立できるよう支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員は、ご利用者様一人ひとりの排泄チェック表を用いて排便パターンを把握し、便秘予防のため水分摂取、運動の声掛けをしている。また職員間での情報共有により便秘の原因と便秘による悪い影響の理解に努めている。便秘になってしまった際は、主治医と相談し必要に応じて服薬しスムーズに排便ができるよう支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	事業所では、入浴の際にご利用者様個々のご希望、体調の変化に応じて柔軟に入浴を楽しんで頂いている。また入浴剤を使用して気分転換を図っている。入浴を拒否される場合は、時間や日を改めるなどして週2回の入浴を支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	事業所は、ご利用者様それぞれの体調や気分に合わせて休養して頂き、日中は体操やレクリエーションなどで体調を整え気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情書はスタッフ全員が見ることができるよう個別のファイルで保管し薬効、副作用について理解ができるようにしている。薬の変更があった場合は記録と申し送りを適格に行い、状態によっては主治医や薬剤師に相談し調整している。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	事業所は、ご利用者様一人ひとりの生活歴や嗜好、力の把握に努め、ご本人の状態にあった力を発揮できるよう支援している。コロナ感染に注意しながら季節の行事やホーム内の飾り付け、ぬり絵、お誕生会等で気分転換の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	事業所は、ご利用者様一人ひとりのご希望を聞きながら悪天候や冬季以外はご出来るだけホーム前庭において日光浴や散歩の支援をしている。野菜畑があるのでその手入れや収穫には出かけている。またご家族のご協力で外出支援をしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は、ケアにおける金銭所持の良い影響を理解しており、ご希望のご利用者様には小銭を持って頂き、他は預かり金として事業所で管理しご本人様の要望により使用している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事業所は、ご利用者様からの要望があれば支障がない限り、大切な人に電話をかけるお手伝いや手紙での交流ができるように支援している。必要な場合は代筆をする準備がある。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所は、ご利用者様が、ゆったりと居心地よく過ごせるような環境作りに努めている。共用部分は配置がわかりやすく安心、安全に生活できるよう配慮されている。快適に生活ができるよう室温や湿度、採光などの配慮に努め、窓からは庭の草花やご近所、公園などが見え近隣の生活や季節を感じることができる。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	職員は、ご利用者様が自室で独りの時間を過ごしたり、気の合った方とゆったり楽しめるようにその時々に応じて座席やスペースに配慮、その場の雰囲気作りに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所は、ご利用者様やご家族様と相談の上で、慣れ親しんだ道具や、ご自宅で使用していた家具、思い出のお品やご家族の写真等を持って頂き、穏やかで安心出来る生活が送れるよう支援している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は、ご利用者様が迷う事がなく解りやすい作りになっている。自立した生活を少しでも長く送って頂けるよう手摺の設置、家具の場所などスムーズに行動できる環境作りに努めている。		